

第50回『都市問題』公開講座

「分権」から「自治」へ—地方分権改革から二十年

(2020年12月12日(土) 13:00~16:00 於:日本プレスセンター10階ホール)

主催:(公財)後藤・安田記念東京都市研究所

プログラム

- 13:00 開会 主催者挨拶 (後藤・安田記念東京都市研究所理事長 小早川光郎)
- 13:05 基調講演 西尾 勝 氏 (後藤・安田記念東京都市研究所顧問、東京大学名誉教授)
- 13:35 基調講演 神野 直彦 氏 (日本社会事業大学学長、東京大学名誉教授)
- 14:05 休憩
- 14:20 パネルディスカッション
- 清原 慶子 氏 (前三鷹市長、杏林大学客員教授、ルーテル学院大学学事顧問・客員教授)
- 神野 直彦 氏 (日本社会事業大学学長、東京大学名誉教授)
- 西尾 勝 氏 (後藤・安田記念東京都市研究所顧問、東京大学名誉教授)
- 山田 啓二 氏 (前京都府知事、京都産業大学教授)
- 勢一 智子 氏 (西南学院大学法学部教授) <司会>
- 16:00 閉会

【開催趣旨】

機関委任事務の廃止を最大の目玉とする、2000年の地方分権改革(分権一括法の施行)から二十年となる。この間、いわゆる《三位一体の改革》の「挫折」もありながら、義務付け・枠付けの見直しや事務・権限の移譲などさらなる改革も地道に続けられてきた。だが、往時の改革熱は遠い過去の記憶となり、改革が期待されていたほどの成果・効果に結びついていないとの声も聞かれる。そもそも理念的には、「分権」はそれ自体が目的なのではなく、「自治」の実現のための手段の(はず)である。本講座では、地方分権改革が何を成し遂げた/得なかったのかを今一度明確にした上で、「自治」(の拡充、振興、実現)の観点から「分権」を捉え直し、「分権」と「自治」のこれからについて議論を深めたい。

【配布資料一覧】

- プログラム（本資料）
- 登壇者プロフィール
- 西尾 勝氏資料：「分権」から「自治」へ 地方分権改革から二十年（基調講演レジュメ）
- 神野直彦氏資料：「アリアドネの糸玉」としての地方分権改革
- 清原慶子氏資料：「分権」から「自治」へ 地方分権改革から二十年
- 山田啓二氏資料：人口減少時代 地方自治はどこへ
- アンケート用紙
- 『都市問題』ブックレット予約注文のご案内
- 『都市問題』のご案内